

(様式b) 改善計画書

施設名 ラポール・ブルーミング

(担当者: 伊藤 正通)

(作成年月日

令和 4年 12月 15日作成)

(施設として続けるに優れていること)	1	視覚的情報を充実し、複数の選択肢を用意するなど、利用者の自己決定に関する支援に力を入れていく。						
	2	個別支援計画を重視し、高頻度に支援状況の評価を行うことで、一人ひとりに対して細やかな支援を行っていく。						
	3	一日二回のミーティングや会議の機会を複数設けることで、サービスの提供に関わる職員間の情報共有を丁寧に行っていく。						
	4	経営課題として人材の確保・育成や利用者の高齢化への対応を挙げて、法人全体で解決に向けた取り組みを進めていく。						
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐに行えること	1	掲示物の掲示方法を見直す	利用者にとって分かりやすく、期待や見通しが持てるようになる	3ヶ月	2023/1/1	2023/3/31	利用者や家族、来訪者にも活動内容や、取り組み内容を可視化し、視認性が確保できる場所に掲示し、常に更新していく。	全職員
	2	生活技能習得のための時間が少ない	利用者のニーズを把握し、日常生活に応用できるような取り組みを行うようにする	6ヶ月	2023/1/1	2023/6/30	利用者のニーズや生活レベルに合わせた取組みを計画し、定期的実施する。	全職員
	3	利用者の障害特性に応じて空間を分ける事が難しい。(大勢の利用者が同一空間で活動している)	利用者の精神状態やスピードに合わせ、少人数に分けたり、状況に合った場を確保する	3ヶ月	2023/1/1	2023/3/31	事業所内の美化、整備をし、作業場や過ごし場の確保をし、イス、ベッド、パーテーション等も活用し、空間・環境の整備をする。	全職員
	4	人材育成	職員ひとり一人のスキルアップにつながる研修の機会を確保する	6ヶ月	2023/1/1	2023/6/30	自らの支援を振り返ったり、研修で学んだ事を伝達したり、マニュアル化したりといったサイクルを確立していく。	全職員
工夫すればできること	1	理念・方針・事業計画等の利用者、ご家族への周知が不十分である	広報や掲示板を活用し、定期的に周知、報告する	1年	2023/4/1	2024/4/1	理念、方針、事業計画書等の配布と説明を行う。図や絵などを使って、分かりやすく伝えて工夫をする。	管理者
	2	全職員への情報の周知が不十分	非・正規職員への情報共有方法の確立	1年	2023/1/1	2023/12/31	非・正規問わず、職員会議や研修会を計画的に設けていく。日誌の確認を習慣化していく。	全職員
	3	個別で相談できる空間がない	プライバシーの確保ができる環境(部屋)を設ける	1年	2023/1/1	2023/12/31	事業所内を整理し、机や椅子等の必要なものを設置し相談室として機能できる環境にする。パーテーション等を活用することでプライバシー保護に配慮する。	全職員
	4	利用者や保護者のニーズの把握が不十分	利用者や保護者のニーズを把握する	1年	2023/1/1	2023/12/31	自治会の機会を設ける。利用者・保護者に対してはアンケートを作成し満足度調査を実施する。	全職員
	5	利用者がのんびり過ごせる空間が少ない	施設の設定備、空間の有効活用	1年	2023/1/1	2023/12/31	簡易ベッドやハンモック等を活用する。中庭にベンチや椅子を設置して、自由に出入りできる環境を整備する。	全職員
予算化しないとできないこと	1	余暇の充実	稼働日や行事内容の充実	1年	2023/1/1	2023/12/31	施設の年間予算を計画的に使用し、ニーズに合わせた備品や設備を整えていく。	全職員
	2	利用者の体調を崩した際に休める場所が無い	利用者が休養を取れる部屋を整備する	3年	2023/1/1	2025/12/31	施設管理者に相談のうえ、空調設備等の導入を検討する。	管理者
	3	ICT化を図る	支援の質の担保をするため、書類の整理、環境の整理をし、可能なところから効率化を目指す	3年	2023/1/1	2025/12/31	パソコン、ネットワーク環境の整備。	管理者
	4							